

第1章 調査概要

1. 調査概要

(1)調査の名称

文化に関する市民アンケート調査

(2)調査の目的

武蔵野市文化振興基本方針(仮称)の策定にあたり、武蔵野市民の文化的な体験・活動の実態や文化施策等に対する考えを把握し、方針へと反映することを目的としています。

あわせて、周辺自治体住民の文化的な体験の実態を把握し、武蔵野市民の現状を把握する参考とするため、武蔵野市周辺自治体における文化に関する意識調査に実施しました。

(3)調査対象

平成28年11月1日現在武蔵野市に住民登録のある18歳以上の人

標本数 2,000名

(4)調査期間

平成28年11月24日～平成28年12月12日

(5)調査方法

郵送送付・郵送回収

(6)回答率

回答数 758件(回答率:37.9%)

(内訳)

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
標本数	32	297	399	425	291	260	197	99
回答数	9	57	124	171	125	118	91	56
回答率	28.1%	19.2%	31.1%	40.2%	43.0%	45.4%	46.2%	56.6%

※上記は問25の回答に基づいて算出しています。同設問に無回答の7名は上記に含みません。

(7) 武蔵野市周辺自治体における文化に関する意識調査

調査対象 杉並区、練馬区、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市、西東京市に住む16歳以上の人

調査時期 平成28年12月1日～平成28年12月5日

調査方法 ウェブモニター調査

回収数 824件

(内訳)

	総数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
総数	824	50	141	127	129	140	137	100
杉並区	116	12	11	5	7	2	9	4
練馬区	122	18	20	20	22	22	18	21
三鷹市	126	17	20	18	17	18	17	20
西東京市	119	18	17	25	17	17	18	17
小金井市	109	18	23	22	18	17	18	24
小平市	113	18	18	21	23	17	18	22
国分寺市	119	15	13	15	15	16	15	11

2. 標本誤差

標本誤差は以下の式で算出され、比率算出の基数(n、回答者数)、回答の比率(p)によって誤差範囲が異なります。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合です。定数1.96は、信頼率95%と設定した場合の定数です。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96 \quad (N: \text{母集団数}, n: \text{サンプル数(有効回答数)}, p: \text{回答比率})$$

Nを平成28年11月1日時点の武蔵野市の18歳以上の人口124,201人として、この計算式に従って算出される調査の標本誤差は以下の通りとなります。

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
758	±2.12%	±2.83%	±3.25%	±3.48%	±3.55%
632	±2.33%	±3.11%	±3.56%	±3.81%	±3.89%
238	±3.81%	±5.08%	±5.82%	±6.22%	±6.35%